

(4)西湊地域

① 地域の概況

西湊地域は都市計画区域の北西に位置し、北側は七尾南湾に接しており、地域の中央には赤浦潟があります。

地域の人口、世帯数ともに微増傾向です。高齢化率は、6地域の中で最も高く、人口の1/3以上が65歳以上です。

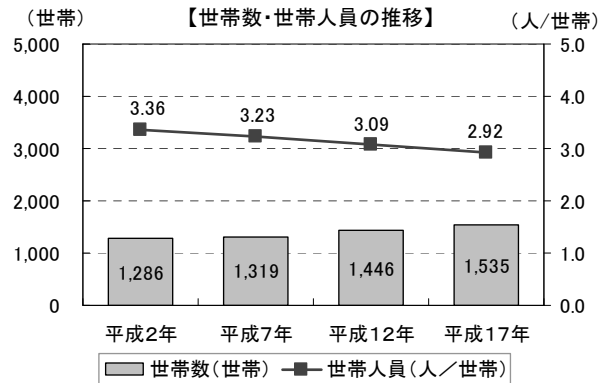
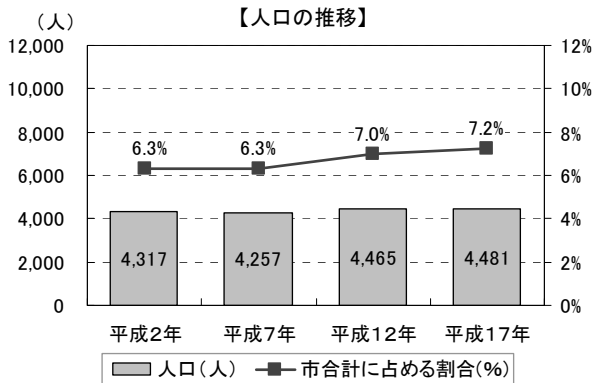
(平成17年の高齢化率(65歳以上の人口割合):  
約35%(七尾市全体:約27%))

国道249号、(主)七尾輪島線が地域を横断し、田鶴浜方面と七尾市街地を結んでおり、(一)末吉七尾線が地域を縦断し、地域南部の直津IC(仮称)と赤浦潟を結んでいます。

また、地域東部には市街地の外郭となる(都)外環状線が計画されており、国道249号と(主)七尾輪島線を連絡しています。

地域南東部には風致地区に指定されている「山の寺寺院群」があり、寺院間を結ぶ山道は「瞑想の道」と呼ばれ、観光散策コースになっています。

赤浦潟は、観光レクリエーション拠点としての活用が期待されており、水質の改善が求められています。



## ② まちづくりの目標

**特色ある自然と歴史環境を活かした 豊かな暮らしと交流のまちづくり**

西湊地域は、七尾南湾や赤浦潟の水とそれを取り囲む森林の緑、山の寺寺院群に代表される歴史資源が地域の特色になっています。

これらをまちづくりに活かし、身近に自然や歴史にふれあえる豊かな暮らしと観光交流のあるまちを目指して、以下の3つについて取り組みます。

**■自然と歴史を活かした地域の宝の育成**

- ・地域資源としての赤浦潟やその周辺の森林、山の寺寺院群等の保全を図るとともに、住民主体による景観ルールの設定、山の寺寺院群と美術館やまちなかを連絡する歩行者空間ネットワークづくりによって地域の宝を育成します。

**■豊かな生活環境の形成**

- ・自然と歴史にふれあえる豊かな生活環境の形成に向けて、赤浦潟の水質改善、土砂採取による周辺環境への影響の低減を図ります。また、通学路や災害時の避難路の確保、緊急車両が通行できる生活道路の整備を図ります。

**■既存ストックを活用したコンパクトな市街地形成**

- ・市街地を取り囲む田園環境、森林環境の保全・活用により、コンパクトな市街地形成を図ります。



山の寺寺院群



七尾美術館



赤浦潟

(出典：七尾百景プロジェクト)

③ まちづくりの方針

**土地利用の方針**

良好な田園環境やまちの背景となる森林の保全などにより、コンパクトな市街地形成を図ります。

耕作放棄地の適正な管理、無秩序な開発の抑制などにより、営農環境の維持・向上、点在する既存集落の生活環境の保全を図ります。

《政策展開》

- ・ 田園環境の保全
- ・ 既存集落の生活環境の保全
- ・ 耕作放棄地の管理
- ・ まちの背景となる森林の保全と活用

**交通体系の方針**

都市間交流道路である(都)外環状線、地域間連携道路である(一)末吉七尾線の整備を促進し、地域の連携強化と安全性の向上を図ります。

地域資源を活かした観光交流を促進するため、山の寺寺院群と美術館、まちなかを連携する歩行者空間ネットワークづくりを進めます。

通学路の機能強化に向けて、狭あい道路の解消、安全施設の適切な配置を進めるとともに、歩車分離による歩行者の安全確保を図ります。

《政策展開》

- ・ 地域の連携強化と安全性の向上 ((都)外環状線、(一)末吉七尾線の整備促進)
- ・ 病院へのアクセス向上 ((市)西湊 99 号線の整備促進)
- ・ 山の寺寺院群と美術館、まちなかとの連携
- ・ 通学路機能の強化
- ・ 歩車道分離による歩行者の安全確保 (通学等 ((都)桜川線の整備促進)

**都市環境形成の方針**

特色ある自然と歴史環境を活かした豊かな生活環境の形成に向けて、赤浦潟の水質改善、土砂採取場の環境影響の低減、埋立地の居住環境の改善を図ります。

山の寺周辺では、施設充実に向けた地域の取り組みを支援し、地域資源として保全・活用します。さらに、山の寺周辺や七尾湾に面する海岸部では、住民主体の景観ルールを設定を図ります。

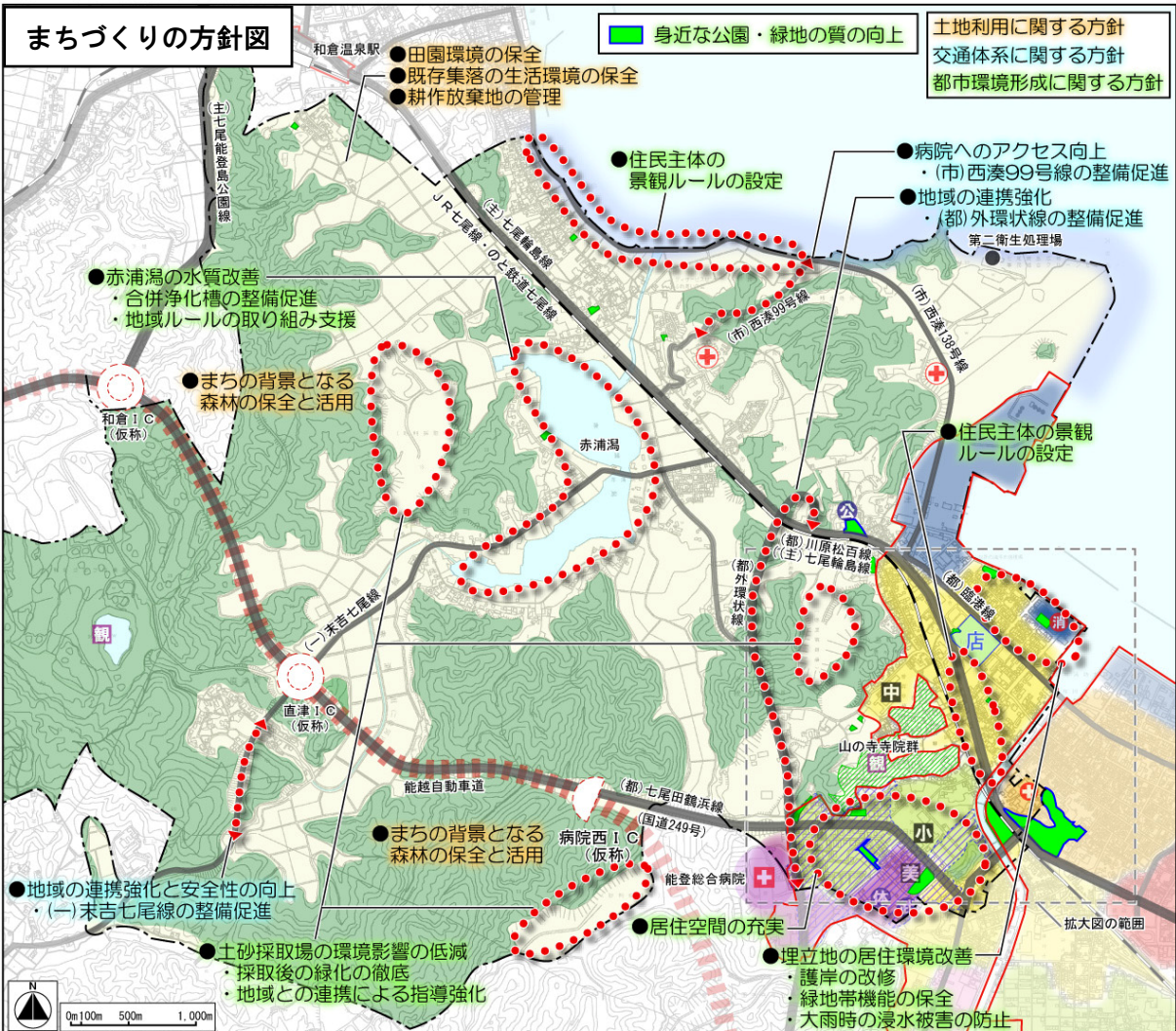
《政策展開》

- ・ 赤浦潟の水質改善
- ・ 土砂採取場の環境影響の低減
- ・ 埋立地の居住環境改善
- ・ 地域資源としての保全・活用 (山の寺周辺)
- ・ 居住空間の充実 (小丸山台)
- ・ 住民主体の景観ルールの設定 (山の寺周辺、海岸)

# 西 湊 地 域

## まちづくりの目標

**特色ある自然と歴史環境を活かした 豊かな暮らしと交流のまちづくり**



凡	例



## (5)和倉・石崎地域

### ① 地域の概況

和倉・石崎地域は、都市計画区域の北西に位置し、北側は七尾南湾に接しています。

地域の人口は、この20年間に大きな変動はありません。他地域と比べて、高齢化率が低い状況です。

(平成17年の高齢化率(65歳以上の人口割合):  
約20%(七尾市全体:約27%))

七尾市を代表する観光地である和倉温泉があり、年間80万人以上が訪れていますが、近年観光入り込み客数は減少傾向にあります。現在、観光交流施設と一体となった新たな総湯の整備や景観協定によるまちなみの形成などにより賑わいの再生が進められています。

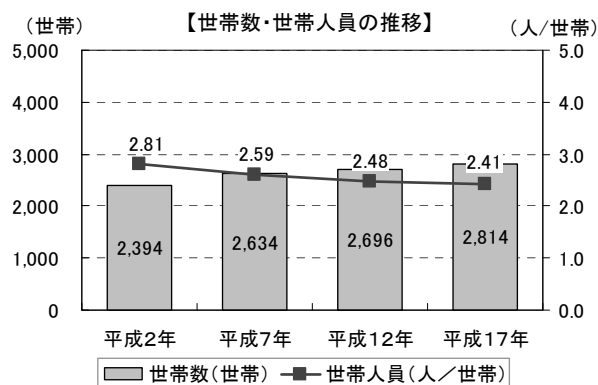
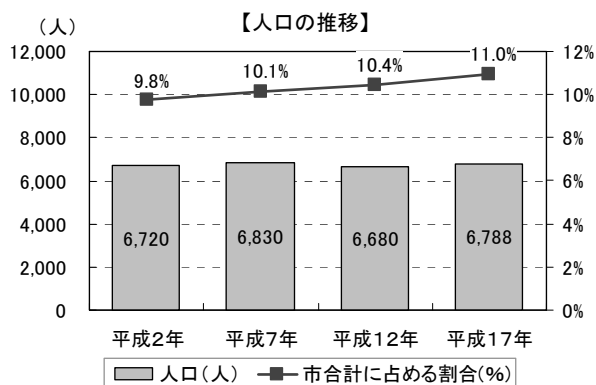
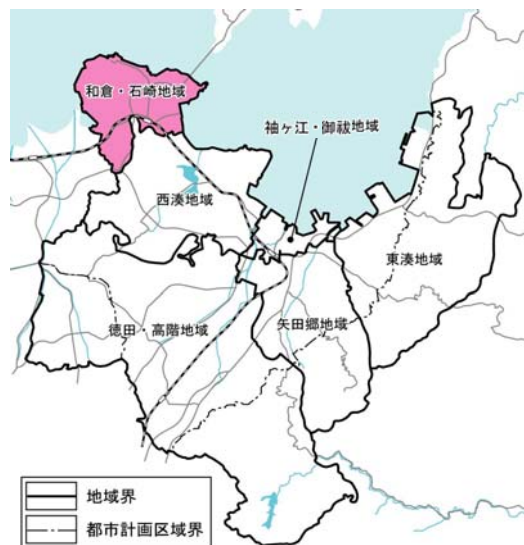
市街地には、土地区画整理事業によって住宅地が形成されている地区もありますが、一部未利用地も残っています。

市街地に隣接して、特産である七輪等を製造する大規模工場が複数立地しています。

石崎漁港周辺には、住宅を中心に建物が密集した集落があり、緊急車両の通行や延焼防止等の安全対策が求められています。

また、温泉街の背後の森林は、能登半島国定公園に指定されています。

平成22年には、石崎町大鳥浜住宅団地近くに防災多目的広場が整備されました。



## ② まちづくりの目標

**温泉を活かした賑わいづくりと 災害に強く暮らしやすいまちづくり**

和倉温泉らしい情緒あるまちなみの整備により、地域住民と観光客のふれあい・交流の拡大、温泉街としての賑わいの再生を図ります。

密集した集落における生活道路の整備、歩行者空間の充実などにより、居住環境の改善を図ります。安全で安心して住み続けられるまちを目指して、以下の3つについて取り組みます。

**■地域の宝を活用した観光交流資源の育成**

- ・地域の宝である和倉温泉を活かした観光交流を促進するため、温泉街のシンボルである総湯を中心とした快適で魅力的な回遊性のある歩行者空間の整備を促進するとともに、マリーナや公園等の交流資源の整備を促進します。

**■災害に強く暮らしやすい生活環境の形成**

- ・住宅地に隣接して規模の大きな工場が立地しており、工場と周辺市街地環境との調和を図ります。
- ・安全で安心して生活できる環境の形成に向けて、通学路や災害時の避難路の確保、緊急車両が通行できる生活道路の整備を図ります。

**■既存ストックを活用したコンパクトな市街地形成**

- ・市街地を取り囲む田園環境、森林環境の保全・活用、基盤整備地区における市街化の促進により、コンパクトな市街地形成を図ります。



和倉温泉



石崎奉燈祭

(出典：七尾百景プロジェクト)

### ③ まちづくりの方針

#### 土地利用の方針

和倉温泉を中心としたゆけむり文化交流ゾーンでは、現在事業が進んでいる和倉温泉まちづくり事業などの基盤整備と連携して、温泉を活かした賑わいづくりを進めるための魅力ある商業地の形成を図ります。

土地区画整理事業による基盤整備が完了している地区での良好な市街化の促進、良好な田園環境やまちの背景となる森林の保全などにより、コンパクトな市街地形成を図ります。

石崎や奥原では、既存のコミュニティを活用して生活環境の改善を図ります。

住宅地に隣接して規模の大きな工場が立地しているため、住民が主体となった地区計画の設定などにより、工場と周辺の市街地環境との調和を図ります。

##### 《政策展開》

- ・ ゆけむり文化交流ゾーンにおける賑わいの再生
- ・ 基盤整備地区における良好な市街化の促進（和倉・石崎土地区画整理事業地区、西部第二土地区画整理事業地区）
- ・ 工場と周辺の市街地環境との調和
- ・ 既存集落の生活環境の保全
- ・ コミュニティを活かす生活環境の改善（石崎、奥原）
- ・ 田園環境の保全
- ・ まちの背景となる森林の保全と活用

#### 交通体系の方針

ゆけむり文化交流ゾーンにおける賑わいを再生するため、快適で魅力的な回遊性のある歩行者空間の充実を図ります。

（都）湯元和倉温泉駅線は、景観にも配慮したシンボル軸として、無電柱化を促進します。

既存ストックを活用したまちづくりとして、公園間を結ぶ道路整備により公園の連携強化と利用促進を図ります。

安全で安心のある生活環境づくりとして、通学路やバス路線の確保を促進するとともに、地域ルールの設定・運用により防災道路を確保し、防災性の向上を図ります。

##### 《政策展開》

- ・ 歩行者空間の充実（（都）湯元和倉温泉駅線線の整備促進（無電柱化））
- ・ 海岸景観を意識した歩行者空間の連続性の確保（（市）和倉2号線の整備促進）
- ・ 公園の連携強化と利用促進
- ・ 交通の集約と公共施設を結ぶ歩行者空間の確保（（市）和倉79号線、（都）和倉中線の整備促進）
- ・ 通学路（バス・徒歩）及び避難路の確保（（都）和倉石崎線の整備促進）
- ・ 通学路の連続性の確保
- ・ 居住環境の改善とバス路線の確保（（都）和倉町線の整備促進）
- ・ 防災道路の確保による防災性の向上

#### 都市環境形成の方針

和倉温泉の快適性や魅力を向上させるため、マリーナや緑地の整備により交流資源の連携促進、排水環境の向上を図ります。

##### 《政策展開》

- ・ 交流資源の連携促進（マリーナ及び緑地の整備）
- ・ 排水環境の向上による旅客及び生活者の安全確保





## (6) 徳田・高階地域

### ① 地域の概況

徳田・高階地域は都市計画区域の南西に位置しています。

地域には市街地はほとんどなく、田園と森林が広がっています。また、高階地域の一部は、都市計画区域外になっています。

人口、世帯数ともに減少傾向にあります。

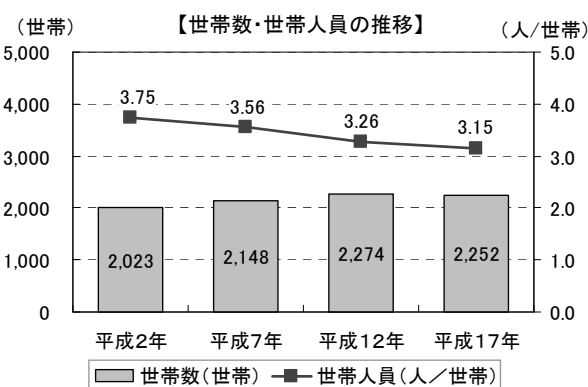
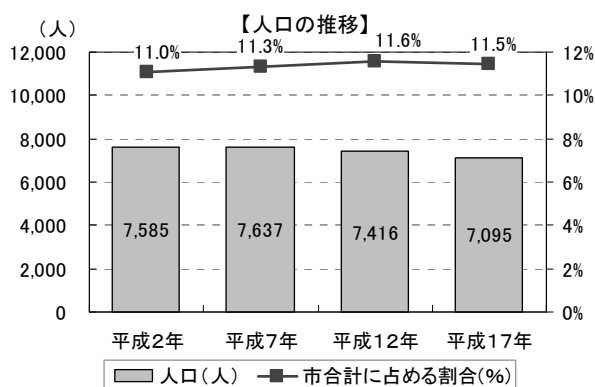
(平成17年の高齢化率(65歳以上の人口割合): 約31%(七尾市全体: 約27%))

(都)外環状線(一部藤橋バイパス)や(一)七尾鳥屋線(七尾道路)の整備が進められています。

地域の中央付近にJR徳田駅があり、駅周辺の集落において緑化に関する協定が締結されています。

地域の北東部に、能越自動車道七尾IC(仮称)が計画されています。ICに隣接して能登歴史公園の整備が進められています。

その他、(一)七尾鳥屋線沿線には七尾フラワーパークのと蘭ノ国、地域南部の多根ダム周辺にはコロサスキー場、やまびこ荘があります。



## ② まちづくりの目標

**豊かな田園・森林環境の保全と地域間連携による暮らしやすいまちづくり**

豊かな田園、まちの背景となる森林環境は地域の宝であるため、これらの保全を図ります。また、広域的な交流・連携などにより地域の人口の維持を図るとともに、活力ある産業の育成に努めます。

市内外の地域との連携により、暮らしやすいまちを目指して、以下の4つについて取り組みます。

**■豊かな生活環境の形成**

- ・生活サービス施設等の誘導による市民の日常生活の利便性向上を図ります。
- ・準用河川笠師川、砂田川流域の生活安全性の確保を図ります。
- ・JR七尾線と連携したコミュニティ強化、子どもの遊び場の確保、緑化ルールによる緑化推進、公共交通の充実による空白地域の解消等により豊かな生活環境の形成を図ります。

**■交流・連携軸の強化**

- ・広域的な交流・連携を図るため、能越自動車道七尾IC(仮称)と市街地との連絡を強化します。

**■地域の宝を活用した観光交流資源の育成**

- ・地域の宝である能登歴史公園を観光交流資源として活用します。

**■豊かな田園、森林の保全と活用**

- ・豊かな田園環境、まちの背景となる森林環境の保全と活用を図るとともに、営農環境の向上を進めます。



能登歴史公園



多根ダム

(出典：七尾百景プロジェクト)

③ まちづくりの方針

**土地利用の方針**

良好な田園環境やまちの背景となる森林を保全するとともに、圃場整備による営農環境の維持・向上を図ります。

無秩序な開発を抑制し、点在する既存集落の生活環境を保全します。

(都)外環状線の沿線については、生活サービス施設等の誘導により市民の日常生活の利便性向上、周辺環境との調和を図ります。

《政策展開》

- ・ 幹線道路沿線の土地利用の促進((都)外環状線)
- ・ 公共交通と連携したコミュニティ強化(南部工業団地の活用)
- ・ 既存集落の生活環境の保全
- ・ 田園環境の保全
- ・ 営農環境の向上
- ・ まちの背景となる森林の保全と活用

**交通体系の方針**

広域的な交流を促進するため、広域交流道路である能越自動車道 I C との連絡を強化します。また、地域間の連携を促進するため、市街地との連絡を強化するとともに、安全性の向上を図ります。

《政策展開》

- ・ I C 及び市街地との連絡強化((都)七尾金沢線、(都)外環状線の整備促進)
- ・ 市街地との連絡強化と安全性の向上((一)末吉七尾線、七尾道路未整備区間の整備促進)
- ・ 公共交通と連携したコミュニティ強化((市)徳田 12 号線の整備)
- ・ 公共交通の充実(デマンドタクシーの実証運行など)

**都市環境形成の方針**

能登歴史公園は、まちの個性となる水と緑の拠点であり、特色を活かした整備により、広域的な観光交流資源としてまちづくりに活用します。

地域の人々が集う公共的な施設は、都市緑化の先導役として積極的に緑化を推進するとともに、子どもが安心して遊ぶことができる場所の充実を図ります。

《政策展開》

- ・ まちの個性となる水と緑の拠点の観光交流資源としての活用(能登歴史公園の整備促進)
- ・ 公共空間を活かした子どもの遊び場の充実
- ・ 緑化協定に基づく豊かな住環境の保全
- ・ 河川流域の生活安全性の確保(御祓川、鷹合川の整備 準用河川笠師川、砂田川流域の浸水被害防止)

